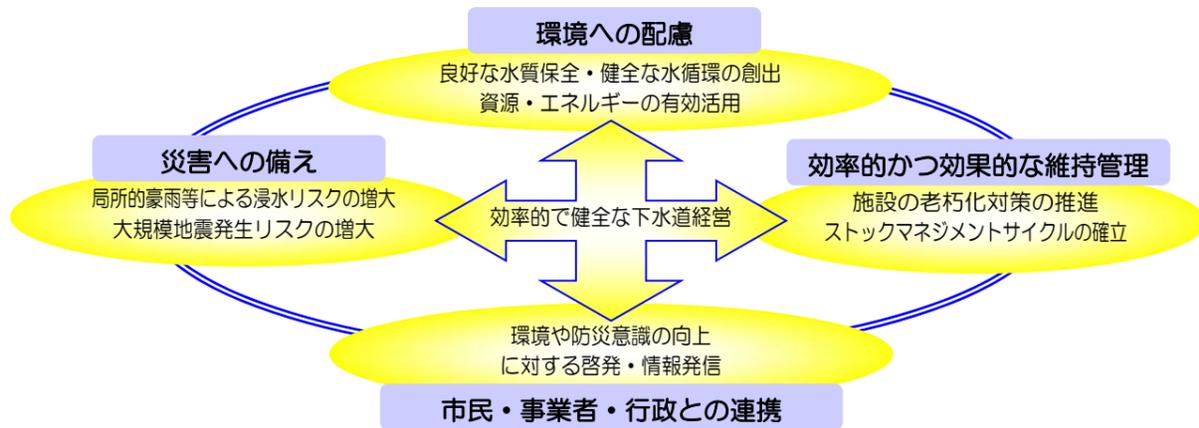


1. 基本理念及び基本方針

本市の下水道は、これまで重要な都市基盤の一つとして、まちづくりに貢献してきました。しかしながら、人口減少や少子高齢化等の進行、近年の温暖化が原因と見られる異常気候、整備水準を超える局地的な大雨の発生や都市化の進展による雨水流出量の増加による浸水リスクの増大、大規模地震発生に対するリスクの増大、老朽化した下水道施設の改築費の増大、エネルギー問題など社会的な状況が変化してきています。これらの課題に対しては、行政単独での取組のみでは完遂することができないため、市民や事業者が行政と一体となって取組む必要があります。

また、下水道を持続的に維持していくためには、今後も安定した下水道経営を行っていく必要があります。そのためには、限られた予算の中で最大限の事業効果を発揮するよう、効率的な事業投資を行っていくとともに、経営基盤の強化を図っていく必要があります。



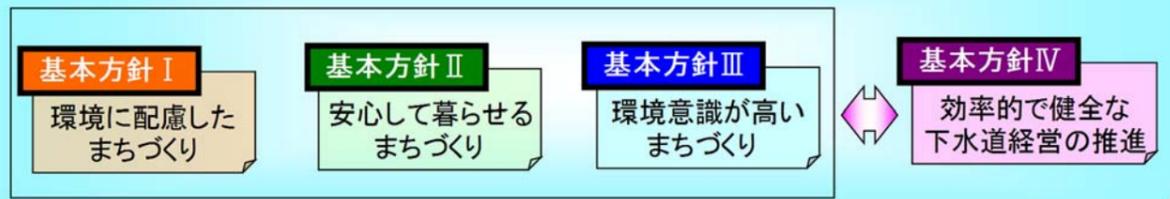
平成22年度に策定した「小平市下水道プラン」では、基本理念を次のとおり掲げて、今後は市民や事業者との連携のもと、安定した経営による持続可能な下水道を目指し、更なる小平市の発展に寄与していくこととしています。

(仮称) 小平市第二次下水道プランでは、これらの基本理念を継承しつつ、これまでの施策の取組状況や新たに増えてきた課題等を踏まえた下水道事業を推進していきます。

【基本理念】
快適な生活環境を支える下水道

- 市民が長く住みたいまちで有り続けるために、質の高い下水道サービスを提供していきます。
- 次世代が下水道を安心して使い続けられるよう、下水道を守り、育て、そして引き継いでいきます。
- 下水道システムのもつポテンシャルを活かし、持続可能な循環型社会の実現に貢献していきます。
- 市民や事業者と連携して、下水道が将来あるべき姿の実現を目指します。

【基本方針】



2. (仮称) 小平市第二次下水道プラン 骨子 (概要)

- 第1章 計画策定の背景と目的**
◆小平市下水道事業の概要、計画策定の背景及び目的を整理します。
- 第2章 計画の位置づけと計画期間**
◆小平市各種関連計画との位置づけ、下水道事業に係る近年の国等の動向、計画期間の設定方針を整理します。

- 第3章 下水道をとりまく現状と課題**
◆小平市下水道事業の取り組み状況から現状と課題を8分野に分けて整理します。
①汚水処理、②浸水、③地震、④合流改善、⑤資源・エネルギー循環、⑥維持管理、⑦環境学習、⑧下水道経営

- 第4章 基本理念及び基本方針**
◆基本理念“快適な生活環境を支える下水道”を踏まえ、「環境に配慮したまちづくり」、「安心して暮らせるまちづくり」、「環境意識が高いまちづくり」、「効率的で健全な下水道経営の推進」の4つを基本方針として掲げます。

基本方針	内容	主な施策(案)
I 環境に配慮したまちづくり	小平市は、早くから下水道整備に取組、周辺の水環境のみならず、放流先である河川を含め流域としての水環境の保全に貢献してきました。今後も、未接続家屋の解消や雨水貯留・浸透施設の設置促進等により、合流式下水道の改善対策による河川の水質改善、水循環の健全化及び地球温暖化対策に向けた取組を推進していきます。 さらに、資源・エネルギー循環の観点から雨水や下水道資源の積極的な利用や、下水熱導入検討に向けた情報発信等、事業者等との連携の取組について検討していきます。 また、良好な生活環境や周辺環境の保全のためには、今後も下水道を守っていく必要があります。下水道を持続的なものとするために、施設の適正管理を継続的に実施します。	1 汚水処理対策 2 合流式下水道改善対策 3 資源・エネルギーの有効利用 4 施設の適正管理
II 安心して暮らせるまちづくり	下水道は市民の生命と財産を守る重要な都市施設です。これまでの取組により、地震や浸水といった自然災害に対する被害は軽減されてきています。しかしながら、整備水準を超える局地的な大雨の発生頻度の増大に見られるように災害の発生リスクは年々高まっています。今後も、浸水対策や大規模地震発生時における下水道機能の確保といったハード対策を実施するとともに、ソフト対策として、市民あるいは事業者の防災意識の向上につながる取組のほか、早期復旧体制の強化等を行うことで被害の最小化を図ります。 また、老朽化に伴う管きよの破損による道路陥没等が起こらないよう、計画的かつ効率的な点検・調査及び改築・修繕を実施し、維持管理を起点としたマネジメントサイクルを確立することで、下水道事業の持続性を高めつつ、下水道サービスの向上を図ります。	1 浸水対策 2 地震対策 3 施設の老朽化対策
III 環境意識が高いまちづくり	小平市は、全国の自治体の中で13番目に下水道(汚水)整備が完了した先駆的な都市でもあります。市内には、「小平市ふれあい下水道館」を有しており、下水道を直接体験できる貴重な施設として、環境学習及び情報発信の場に活用することで、下水道の『見える化』に寄与する取組を推進してきました。 下水道を含めた環境問題への取組については、行政のみで完遂することはできず、市民あるいは事業者との連携が必要です。これからも積極的な情報発信を行うとともに、ホームページ等で市民や事業者からの意見も聴取し、環境意識の向上に対する取組を実施します。 また、小平市ふれあい下水道館の取組が次世代へつなげられるよう施設運営等のあり方について検討していく必要があります。	1 環境学習の継続
IV 効率的で健全な下水道経営の推進	下水道として小平市のまちづくりに貢献していくためには、下水道を持続的なものとする必要があります。昨今の厳しい財政状況も踏まえ、限られた予算の中でいかに効率的に事業を実施していくかが鍵となります。今後は、公営企業会計で明らかとなる経営指標等を基に作成する「経営戦略」に基づき、下水道経営の効率化・健全化を図るとともに、収入の適正化の検証を行い、下水道事業の経営状況を市民に理解しやすく公表していきます。	1 経営の効率化・健全化 2 公営企業会計の運用

- 第5章 施策の展開**
◆基本理念及び基本方針を実現するための“目指すべき基本目標”や施策の優先順位(重点計画)を示すとともに、各施策の“具体的な取組内容”を示します。

- 第6章 施策の進捗管理**
◆各施策の“年間スケジュール”及び“具体的な目標数値等(アウトカム指標)”を示します。

- 第7章 収支計画及び経営戦略**
◆本計画において取組むべき課題とされる浸水対策、地震対策及び老朽化対策等の事業費を反映した「収支計画」に基づく「経営戦略」を作成し、下水道事業の“経営状況”を取りまとめます。

3. 施策の体系（新・旧対照）

